

海老名市立有馬小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第1回)

- 1 日時** 令和5年6月21日(水) 9:45~11:40
- 2 場所** 海老名市立有馬小学校 校長室
- 3 出席委員** 山口 慎二委員(委員長)、古郡 宗正委員、村山 紀行委員、小松 明委員、住田 晶子校長、前田 潤子教頭 (計6名)

4 会議の内容

(1) 委員自己紹介

※山口慎二委員に委員長継続の了承を得た。

(2) 授業参観

(3) 協議1 学校運営方針について

令和5年度学校グランドデザイン、いじめ防止基本方針等について検討

◆主なご質問やご意見

山口委員：現在、不登校の人数はどれくらいですか。

校長：登校しぶりを入れて数人。オンラインを利用して学習のフォローをしている。

古郡委員：いじめの件数の文科省の調査の例のように、管理を厳しくすると、実数が出にくくなる。不登校の実数も同じである。

いじめについては、子どもが口にした言葉を教師や周りの大人がちゃんと拾えるように、子どもが言いやすい雰囲気作りをしておかなければならない。

小松委員：いじめの定義には家庭間で認識のズレがある。

※学校運営方針について承認

(4) 協議2 学校運営協議会実施計画について

◆主なご質問やご意見

古郡委員：自分で問題を見つけチャレンジする力を育てほしい。

校長：当事者の意識を持ち、生き生き生活する姿を開拓していきたい。

※学校運営協議会実施計画について承認

(5) その他情報提供等

校長：モジュールタイム導入について今後ご意見あれば伺いたい。

古郡委員：学校独自に許される範囲があるなら、ゆとりのある生活を送らせてあげたい。

校長：通学かばんの検討について今後ご意見あれば伺いたい。

古郡委員：もっと子どもたちに自由を与える。大人の都合のいいように強制している。学校は失敗させていい。その中から学んでいく。

村山委員：リュック開始について登校時に児童に聞かれる。重いのかもしれない。子どもたちは自由にしたいのかな。

小松委員：昔は耐久性の問題、経済的問題で4年生から通学かばんは自由であった。検討していくのはよい。

※次回開催：令和5年11月21日（火）9：45～